



くすのき



あ 明けましておめでとうございます

第50号 contents

- 祝！広報『くすのき』第50号
法人合同防災訓練 2
- 各施設だより 3～5
- グループホームだより 6
- 新任・退職者紹介 7
- 各施設寄付物品及びボランティア・編集後記 8

R4年6月～R4年11月

いつも温かいお心遣い
ありがとうございます。

寄付者(芳名)

- ・花王(株)様
- ・光田屋(株)様
- ・平松工業(株)様
- ・オーエスジー(株)様
- ・トヨタL&F中部(株)様
- ・東海液化ガス(株)様
- ・(株)AIHO様
- ・(有)丸正肉店様
- ・(有)美里様
- ・フィール蒲郡店様
- ・光明寺様
- ・朝日屋様
- ・数井材木店様
- ・坂太工務店様
- ・松下美奈子様
- ・小林英生様

ボランティア

- ・つくしんぼ(代) 小林春代様
- ・三戸夏居様
- ・岡本晴美様
- ・廣濱不二代様
- ・左右田金子様

- ・大岡恵津子様
- ・伊藤裕一様
- ・西浦工芸様
- ・鈴木敏道様
- ・NPO法人ブックパートナー
(代) 杉江恵子様
- ・小島定夫様

とびつくす(つつじ寮) 環境整備

つつじ寮では毎朝清掃の時間があり、利用者さんと職員で担当の場所を清掃していますが、それとは別に毎月末に環境整備の日を設け、半日かけ施設内の様々な場所を清掃しています。今月は食堂の床清掃、各居室のエアコンフィルター清掃というように毎月清掃する場所を決め、普段では行えない細かな所まで時間を掛け行っています。ちなみにこの写真は11月の環境整備で洗面台の配管と寮棟内の換気扇を清掃しているところです。やや古くなってきた施設ではありますが、利用者さんが安全に住みやすい環境を整えられるよう今後も努めていきます。



広報くすのき(年2回発行)

■発行元
〒443-0013
愛知県蒲郡市大塚町後広畑85番地1
TEL (0533) 59-7221
社会福祉法人 くすの木福祉事業会
■<https://www.kusunoki-fukushi.jp/>

くすの木福祉事業会 検索

編集後記

広報『くすのき』の記念すべき第50号です。私自身はその歴史のほんの一部にしか携わっていませんが、これほど長く続けるには苦悩もあつたのではないのでしょうか。様々な人が作り上げてきた歴史ある広報誌に携われて大変嬉しく思います。

お知らせ

法人現況報告書、事業報告及び決算書は、法人本部またはホームページ上で開示しています。



『新型コロナウイルス クラスタ』を経験して

9月29日、つつじ寮で新型コロナウイルスのクラスターが発生しました。隔離生活になり、利用者さんは辛い思いをされたと思います。普段は日中活動に参加したり、好きなテレビを観たり、おしゃべりしたりする元気な姿の印象が強い利用者さん。そんな方々が一日中布団の中で静養していたということは、私たち職員が想像するよりも大変だったと思います。『新型コロナウイルスクラスタ』という今まで経験しなかった混乱の中で、必死に業務に携わっていた職員も次々と罹患していきました。大変な状況ではありましたが、同法人内からの応援もあり10月13日に無事に終息宣言を出すことができました。ご心配、ご迷惑をおかけしました。

余談になりますが、この記事を書いた私は感染することなく支援を行うことができた支援員の内の一人です。どうして感染しなかったのか、自分でもわかりません。しかし、絶対に感染しないという保証はありません。今後この教訓を活かして感染対策を続け、感染することなく支援できればいいなと思います。

『新型コロナウイルス クラスタ』を経験して



●あしあとの会

9月22日にひまわりホールであしあとの会セレモニーが行われました。

今年度の対象者は、山川弘さん88歳、小崎弘毅さん、平野和美さん、二村富士子さん60歳、山田秀一さん、今泉治雄さん、大熊公子さん、遠山恵美子さん50歳、計8名のお祝いをしました。

対象の利用者さんは素敵なお衣装に身を包み、寮長からお祝いの言葉と、記念品を頂いて皆さん嬉しそうでした。

利用者の皆さんからもたくさんお祝いしてもらいました。本当に温かく、すてきな『あしあとの会』になりました。



●ふれあい旅行

旅行での楽しみとはどのようなものでしょうか。景色や食べ物、人それぞれ楽しみ方が違うと思います。今回の代替企画は「食」を重点的に楽しめるように企画しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、つつじ寮内でお弁当、どら焼き、ケーキを食べる企画です。たくさん種類のケーキを用意し、その中から好きなケーキを選んでいただきました。定番の苺のショートケーキが特に人気でしたが、マスクのタルトやフルーツロール等のきらびやかなケーキも好評でした。瞳をキラキラさせて嬉しそうに食べる方、大事そうに時間をかけて食べる方、食べ方は様々ですが、皆さん綺麗に完食していました。旅行には出かけられませんが、旅が、プチ贅沢を楽しみました。

代替企画



●ようこそ山田兼司さん

11月1日より、わくわくワーク大塚からつつじ寮へ入寮された山田兼司さんです。テレビを観たりカラオケを歌うのが好きで、いつも職員に笑顔で話しかけてくれます。山田さんは「作業を頑張って、職員さんとも仲良くなりたいです。」と意欲的です。皆さんよろしくお祈り致します。

●福祉まつり



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、規模を小さくしてつつじ寮だけの福祉まつりを行いました。舞台上がってカラオケをしたり、マドレーヌ、パンを購入しコーヒードと共に美味しく頂きました。ペニア板に、利用者さんの笑顔いっぱいの写真で「つつじ」の文字を作りました。写真の周りを利用者さんの手形でいっぱいにし、素敵な作品が出来上がりました。

祝！ 広報『くすのき』第50号



この度、社会福祉法人くすの木福祉事業会の広報誌である『くすのき』が第50号発行を迎えることができました。これもひとえに、利用者様、保護者様、地域の皆様の御協力あつてのことと思います。誠にありがとうございます。

今回、第50号発行を迎えるにあたり、歴代の『くすのき』を少しだけ振り返りたいと思います。

記念すべき創刊号です。利用者様から大人気の自動販売機が表紙を飾りました。この自動販売機があるサンルームは、ジュースタイム以外の時間にも日向ぼっこをする利用者様が集う憩いの場です。



創刊号〜第11号までは白黒印刷でした。今では当たり前となったカラー印刷も、当時は一般的ではなかったのかもしれないですね。写真は白黒で残っていますが、その当時の方々の心の中は色鮮やかな思い出となっていることでしょう。

新型コロナウイルスが蔓延し、旅行も気軽には行けなくなつて



しまいました。以前は北海道、ディズニーランド、ユニバーサルスタジオジャパン等、各施設様々な場所に出かけていました。また遠くにお出かけできるというですね。

今ではなくなつてしまつた「六施設合同ふれあい大運動会」。昭和58年から24年間続いた一大イベントでした。このように、なくなつてしまつた行事を振り返ることが出来るのも広報誌の良い所ではないでしょうか。

法人合同防災訓練



10月21日、法人合同防災訓練が実施されました。南海トラフ地震などの大災害の発生に備えて、災害が起こった際の法人内の任務と各事業所の情報伝達の訓練を実施しました。

午前中は法人災害対策マニュアルに沿って、法人災害対策本部及び各事業所の自衛防災隊の設置訓練を行いました。毎年同様の訓練を実施し、自衛防災隊各班の動きを確認しました。繰り返し訓練することで精度も年々高まっています。

午後からは蒲郡市内の通所施設に通われています3組の利用者さんと付き添いの保護者さんを実際に受け入れる福祉避難所設置訓練を実施しました。はじめてつつじ寮に来寮された利用者さんたちですが、パーティーションのなかで落ち着いて過ごすことができました。

最後は防災備蓄食の試食会を行いました。用意されたお湯を注げば食べられるアルファ米などを興味深く味わいました。

この度は貴重な機会をいただき福祉避難所の受け入れ訓練を実際に近い形で行うことができました。参加された利用者さんと保護者の皆様ありがとうございました。





キッチンカーレク

新型コロナウイルスの影響で、みなで外出しての飲食がまだまだ難しいので、スガキヤさんと北斗寮さんに来ていただき、ラーメンと焼き鳥を食べました。

この日は快晴だったこともあり、机を外に出したり食券を持って自分で料理を取りに行くなど、いつもと違う昼食をみんなで楽しみました!!

ラーメンはともおいしく、焼き鳥も肉が柔らかくみんな夢中で食べていました。



バザー販売(11月18・19日)

蒲郡市商工会議所で開催された繊維産業の振興のため実施されているテックスピジョンで自主製品の販売をさせていただきました。ありがとうございました。

いいお天気の中、パンや椎茸、縫製品などたくさんのお客様に購入していただきました。ありがとうございました。

より良い商品を作っていくため、今後も利用者さんと共に頑張っていきたいと思っております。

大岡芳子さんお別れ会

11月30日に大岡芳子さんが退所されました。約1年という短い間でしたが、運動や仕事に真剣に取り組んでいる姿は皆さんの良いお手本になっていたと思います。次の施設でも大岡さんの良さを生かして頑張ってください。



山田兼司さんお別れ会

10月31日に山田兼司さんが退所されました。23年間という長い間、わくわくワーク大塚に通い、日々一緒に過ごしてきました。話すことが好きで、他利用者さんや職員を笑顔にしてくれていました。つつじ寮でも、笑顔で元気に楽しく過ごしてくれると嬉しいです。



アルミ製跳ね上げ式アームサポート車いすありがとうございました。

令和4年11月トヨタL&F中部株式会社CSR推進部CSR安全課様よりアルミ製跳ね上げ式アームサポート車いすを頂きました。車いすは屋内・屋外問わず移動に不自由を感じておられる利用者様に使用してもらうことで、利用者様はもちろん、介助する職員の負担軽減に繋がります。トヨタL&F中部株式会社CSR推進部CSR安全課様、本当にありがとうございました。

保護者会より 空気清浄機7台寄贈

(令和4年8月26日)

コロナ禍、保護者会より空気清浄機が寄贈されました。作業場所、相談室、休憩室などに設置し利用者、職員の感染予防のために活躍しています。ありがとうございました。



トヨタL&F中部(株)様

11月10日、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会を通じて、トヨタL&F中部(株)様よりアルミ製跳ね上げ式アームサポート車いすを寄贈頂きました。



イーオン蒲郡店様

12月21日、クリスマス慰問でたくさんのお菓子を頂きました。

オーエスジー(株)様

12月、寄付金を賜り、事業所内の整備として洗濯機、利用者用ロッカー、車いす体重計、肘付椅子4脚、利用者には、ひとり一人にクリスマスプレゼントとしてノート、ボールペンを頂きました。



(株)A-HO様 光田屋(株)様

12月23日、クリスマスケーキを頂きました。



イーオン蒲郡店様

12月21日、クリスマス慰問でたくさんのお菓子を頂きました。

防災訓練

10月21日、サポートくすの木では防災訓練搬送法の学習をしました。写真は搬送法の一つで、毛布を用いた応用担架での備えを常日頃から心掛けていきたいです。



トリック・オア・トリート Trick or Treat

今年度は、新しい試みとしてハロウィンのイベントを行いました。玄関は、カボチャとオバケがお出迎え。カボチャの帽子、マントをつけた職員が各部屋を回り、利用者さんと記念撮影。今後も、新しい行事を色々と考えていきます。



くらしの工房 蒲郡2022 に出店しました。

10月29・30日、みなとオアシスがまごおりにて、くらしの工房 エア蒲郡2022が開催されました。幸いにも2日間天候も良く、多くの方が来場され、サポートくすの木でも木工体験や商品を購入していただきました。

蒲郡市内をはじめ、全国の作家や職人さんによる作品の展示・販売・ワークショップなどがあり、ご家族で楽しめるイベントでした。



2023年の今年の干支は「卯」です。

このように「とび出る」や「分ける」という意味から、卯年は「飛躍する」年や時代の区切り、「契機」になる年と言われたりします。

2023年、干支の由来を考えます。よく良い年になりそうなお知らせです。

「卯」という字は左右に開かれた門の形から出来たと言われており、開いていた門が開き「とび出る」という意味があると考えられています。また「分ける」(区切る)という意味を持つ説もあります。



退職者紹介

- サポートくすの木
- サポートくすの木

- 永田 恵美
- 奥谷 美加



わくわくワーク大塚
福光加奈子 (生活支援員)

利用者さんが、毎日楽しく生活できるように支援させていただきます。笑顔で頑張りますのでよろしくお願ひします。



つじ寮
西山岳志 (生活支援員)

9月1日よりつじ寮でお世話になっております西山岳志です。『どんな時でも一生懸命』をモットーに全力で頑張ります。よろしくお願ひします。



コロナ対策をしながらではありますが 外出や外食の機会も少しずつ増えてきています。

今年度のグループホームの食事は少人数にて出かけています。各ホームごとに好きなお店に行って外食をしてきました。また、クリスマス会も各ホームごとに実施しています。今後も楽しいイベントを企画していきたいと思ひます。



かるみあー 11月23日に和食でこへ食事会に出かけました。またクリスマス会もホームで実施して楽しいひとときを過ごしています。

「くすのき便り」
各事業所の
“あんなこと～こんなこと～”
また法人行事など、
綴っていきたく思ひます。

<http://blog.canpan.info/kusu/>

法人のホームページからでも、ご覧いただけます。

法人3施設、グループホームや活動の紹介など情報が盛りだくさん!!

社会福祉法人くすの木福祉事業会のホームページです。ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.kusunoki-fukushi.jp/> 検索



困りごとのご相談を受け付けています

障害者サポートセンターすてっぷでは障害福祉サービスに関する生活を困りごとなどのご相談を受け付けています。障害をお持ちの本人やその家族の方と一緒に今後のことを考えていきたいと思ひています。すてっぷで対応が難しかったり、他にもっといい機関がある場合はそちらをご紹介させていただきますので、まずはお気軽にご相談ください。

なお、障害者サポートセンターすてっぷは平成31年4月から精神障害者支援体制加算対象事業所になりました。引き続き、専門知識の習得や支援技術の向上に努めてまいります。

障害者サポートセンターすてっぷ 0533-59-7215

令和4年度蒲郡市自立支援協議会専門部会 GH連絡調整ワーキング 第2回合同研修会

11月1日、グループホームひめはるリビングにて蒲郡市内のグループホーム事業所職員の皆さんと合同で、救急法短期講習の研修会を行いました。講師は日赤愛知県支部指導員でサポートくすの木職員の村崎正明氏を講師としてお招きし、開催しました。

参加事業所はくすの木福祉事業会グループホームひめはる、かるみあ、はちまん、さつき荘、ふわふわ大塚、三谷の調べ、テラスグリーオーレ御津、午前の部、午後の部あわせて総勢22名参加しました。各事業所の職員さんがそれぞれのグループに分かれて参加




みあ、ふれんずの施設見学を行い、食事提供や日課、外出など職員の業務内容や利用者支援について意見交換ができ、有意義な研修会となりました。

し、違う事業所の職員の間で学びながら交流することができました。救急法の講習後は、ひめはる、かるみあ、ふれんずの施設見学を行い、食事提供や日課、外出など職員の業務内容や利用者支援について意見交換ができ、有意義な研修会となりました。


